

# 事業評価シート（平成27年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	無形文化財保存事業		
事業担当	社会教育部 社会教育課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'01	基本目標1 豊かな心をはぐくみ、よろこびとふれあいにあふれたまち	
	'02	②〈感性〉 生涯学習や文化などを通じ、豊かな感性をはぐくむ	
	'04	4 価値ある歴史的遺産を守り伝える環境をつくる	
根拠法令等	文化財保護法		
対象・受益者	民俗芸能継承団体、一般市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
郷土芸能が継承・保存され、後継者の育成が図られています。		郷土芸能の継承と後継者の育成を図るため、活動発表の場である民俗芸能まつりを開催するほか、その保存に必要な活動支援等を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	民俗芸能まつりの開催回数			単位	回
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	1	1	1		
活動指標②	指標名	人形浄瑠璃芝居保存団体数			単位	団体
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	3	3	3		
成果指標①	指標名	民俗芸能まつり参加団体数			単位	団体
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	4	4	5		
成果指標②	指標名	民俗芸能まつり来場者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	280	328	371		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
無形文化財の保存と伝承を目的として、民俗芸能継承団体の地域公演活動や後継者育成等を支援しました。また、第39回ひらつか民俗芸能まつりを11月15日(日)に中央公民館大ホールにおいて開催し、市内に守り伝えられてきた郷土の民俗芸能について、市民がふれ合う機会を創出し、文化財についての理解を深めました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市民ニーズ</li> <li>■ 事業目的の達成状況</li> <li>■ 市の関与の必要性</li> <li>□ その他</li> </ul>	文化財保護法に基づき、長い歴史の中で守り伝えられてきた無形文化財について理解し、郷土の民俗芸能が保存・継承され、後継者の育成につなげるために公演の場や補助金等による支援の継続が必要です。	● 高 ○ 低
	有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 上位施策への貢献</li> <li>■ 市民満足度を高める方策</li> <li>■ 継続による成果向上の可能性</li> <li>□ その他</li> </ul>	継続することが、無形文化財について市民の理解と認識の向上につながり、有効です。	● 高 ○ 低
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業の目的、対象、内容</li> <li>■ 受益者負担、補助額</li> <li>■ 業務の執行体制(人員配置、業務分担)</li> <li>□ その他</li> </ul>	本市の貴重な無形文化財の保存・継承を図ることは、郷土の文化についての理解を深め、受け継がれてきた伝統を絶やすことなく将来に引き継ぐことの大切さを周知することになり、継承団体に対する支援は妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 業務プロセス改善による効率化の方策</li> <li>■ コスト削減の可能性</li> <li>■ 事業手法(民活の余地、事業形態の検討)</li> <li>□ その他</li> </ul>	無形民俗文化財の保存・継承のため、公演の場の提供だけでなく、その事業内容を多角的な視点から考察し、有効な運営方法や手段の検討を図っていきます。	○ 高 ● 中 ○ 低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 文楽人形芝居において継承者の高齢化などの課題が顕在化しており、座員の増加を図るための方策が必要です。また、27年度は民俗芸能大会の参加人数が増えましたが、更に参加人数を増やすため、民俗芸能への理解と興味の喚起や、積極的なPR活動を図るなどの方策が必要です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		民俗芸能まつりの開催、無形文化財保存伝承団体への活動支援	民俗芸能まつりの開催、無形文化財保存伝承団体への活動支援	民俗芸能まつりの開催、無形文化財保存伝承団体への支援
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	854	856	814
事業費 (A)		854	856	814
執行率 (%)		84.89	92.74	92.29

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成29年度の取組方針</b> 第41回ひらつか民俗芸能まつりの実施や、各継承団体に対する活動支援を通じて、無形文化財の保存・継承を推進していきます。また、文楽人形継承団体を中心に、PR活動や周知の強化を図り、他事業との連携を検討しながら子どもたちへの体験事業を行うなど、後継者育成を図っていきます。
<b>課長コメント</b> 本市の歴史・文化を後世に伝えるために民俗芸能団体を支援することは重要であると考えます。文化財の保存・継承のため後継者の育成など各団体の実情を踏まえ、具体的な支援方法を検討していきます。